

令和5年8月8日

四国地方整備局

## “地域活性化へ” 官民連携事業の支援を決定

～民間と自治体が連携して取り組むインフラ整備の事業化検討を支援～

国土交通省は、「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（官民連携基盤整備推進調査費）」令和5年度第2回配分として、地方公共団体が実施する7件の調査（道路・都市公園・市街地整備）の支援を決定しました。

なお、四国地方整備局管内では、以下の1件の支援を決定しました。（詳細は別添参照）

調査名：観音寺市における新たな道の駅整備による地域活性化のための基盤整備検討調査  
実施主体：観音寺市  
対象地域：香川県観音寺市

■本事業は、民間の設備投資等と一体的に計画される地方公共団体のインフラ整備（道路・河川・都市公園・市街地整備・港湾・空港等）の事業化検討を支援するための制度です。（配分先：地方公共団体、補助率：1/2）

■募集情報や過去の実施例等は以下をご覧ください。

国土交通省 HP「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」

<https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>

<同時記者発表>

国土交通省（国土政策局 広域地方政策課）

<問い合わせ先>

四国地方整備局 企画部 広域計画課

課長 矢野 慎二

課長補佐 兵頭 一志

電話 087-811-8309（広域計画課直通）

令和5年度 官民連携基盤整備推進調査費 第2回実施事業一覧 (四国管内)

別添1

調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額(千円)	
				事業費	国費
1 <small>かんおんじし</small> 観音寺市における新たな道の駅整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	<small>かんおんじし</small> 観音寺市	香川県 <small>かんおんじし</small> 観音寺市	四国4県の県庁所在地まで約1時間と、四国のほぼ中央部に位置し、「銭形砂絵」や「天空の鳥居(高屋神社)」等の観光地を有する観音寺市は、更なるにぎわい創出や地域経済の活性化に向け、新「道の駅かんおんじ(仮称)」を地域のにぎわいづくりの新たな拠点として整備することを位置づけ、民間事業者による地場産品販売所の設置や体験型観光イベントの開催に合わせ、道の駅の整備に係る基本計画策定や概略設計及びPPP/PFI導入可能性の検討等を行う。	21,800	10,900
計1箇所				21,800	10,900

# 観音寺市における新たな道の駅整備による地域活性化のための基盤整備検討調査 別添

## 地域の特徴等

- 観音寺市は、北東から南西に国道11号と国道377号が通り、国道11号と並行する高松自動車道には、大野原ICを介して接続しており、現在、令和7年度末完成に向け、観音寺SIC（仮称）を新たに整備している。また、四国4県の県庁所在地には車で約1時間と、四国のほぼ中央部に位置している。
- 「銭形砂絵」、四国霊場唯一の一寺二霊場である「神恵院・観音寺」や四国八十八箇所霊場「雲辺寺」の参詣者が利用する「雲辺寺ロープウェイ」をはじめ、絶景のパワースポットとして知られる高屋神社「天空の鳥居」などもあり、年間約150万人近くの観光客が訪れていたが、近年は新型コロナウイルス感染症等の影響により100万人を割り込むまで減少した。
- 令和元年には、市内の事業者からなるまちづくり団体である「どっかーん！！と観音寺を盛り上げ隊」が立ち上がり、地域製品の認知度向上や地域経済の活性化を図るため、地元食材等を使用した新商品の開発や物産展の開催をしている。

### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・令和2年9月：市内に2つ目のICとなる観音寺SIC（仮称）の事業化（R7年度末開通予定）
- ・令和5年2月：観音寺市新道の駅市民検討委員会の設置
- ・令和5年4月：第2次観音寺市総合振興計画後期基本計画において、「道の駅」を市の産業の活性化による地域のにぎわいづくり拠点として整備することを位置づけ
- ・令和5年5月：観音寺市新「道の駅かんおんじ（仮称）」基本構想を策定

### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・市内バス事業者による観光地広域周遊バス等の運行（令和10年度～）
- ・市内の事業者が立ち上げた団体による、地元食材等を使い開発した新商品を地域交流施設内の地場産品販売所に設置（令和10年度～）
- ・観音寺市観光協会による、広域観光情報の発信、レンタサイクル、まち歩きなどの観光体験やイベントの実施（令和10年度～）
- ・PPP/PFI事業者による道の駅整備・管理運営（令和9年度～）

### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・周辺自治体との広域連携や交流人口の増加、コロナ禍で落ち込んだ観光消費額の増加を目的としたにぎわいを創出する拠点整備が必要
- ・農畜水産業、商工業、観光業等の諸産業の強化による地域経済の活性化および持続可能な雇用の創出

### (4) 【調査内容】

- ① 道の駅（駐車場、休憩施設、情報発信施設、地域振興施設等）の整備に係る基本計画策定及び概略設計
- ② 道の駅に係る基本調査（整備効果、需要検討、交通量調査）
- ③ 道の駅整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性調査

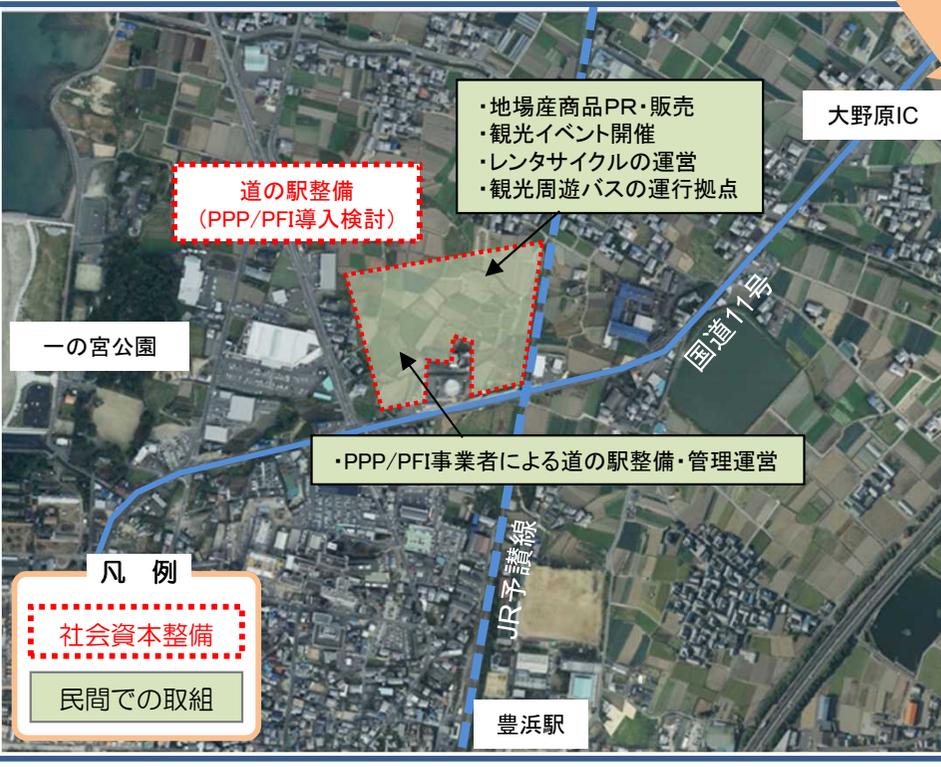
### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・広域観光情報の発信により、交流・関係人口の増加とにぎわいの創出
- ・地場産品販路および消費拡大による地域経済の活性化
- ・民間事業者による良質なサービスの提供により、道の駅利用者と収益の増加

【調査箇所：香川県観音寺市】  
位置図



【整備箇所周辺図】



密接な  
関連性

# 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

## 事業概要

- 各地域の個性や強みを活かした特色ある成長を図るためには、民間の投資効果が最大限に引き出されるよう、民間の設備投資等と一体的に基盤整備を実施することが重要である。
- 官民が連携して実施する民間投資誘発効果の高い基盤整備や広域的な地域戦略に資する事業について、民間の意思決定のタイミングに合わせ、機を逸することなく基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑かつ速やかな移行を図るため、地方公共団体が行う事業化検討に対して調査費補助を行う。

## 事業内容

【配分先】地方公共団体(都道府県・市町村等)

【補助率】1/2

【募集・配分スケジュール】令和5年度

区分	募集期間	配分時期
第1回	1月24日～2月17日	5月上旬
第2回	4月17日～6月9日	8月上旬

※ 現時点で第3回募集の予定はありません。

### 【支援内容】

民間事業活動と一体的に行うことにより、優れた効果の発現や効率性が期待できる国土交通省所管の基盤整備※の事業化に向けた検討経費を支援

#### <調査内容>

- ① 施設整備の内容に関する調査  
(例) 基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等
- ② ①で調査した施設の整備・運営手法に関する調査  
(例) PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFM算定等

※ 道路、海岸、河川、港湾、都市公園、市街地整備、空港等の公共土木施設

## 事業フロー

